

集計25分スピーディー

京都西山高生徒会 今年もオンライン選挙

オンラインによる生徒会執行部選挙がこのほど、向日市寺戸町の京都西山高で行われた。1、2年生が各教室に配信される立候補者による演説をリアルタイムで視聴し、9割の生徒がパソコン端末やスマートフォンで1票を投じた。集計作業は25分で終了し、結果もすぐに校内に掲示された。

同高では新型コロナウイルスの感染予防を目的に、昨年から生徒会はオンラインによる立候補者による演説をリアルタイムで視聴し、9割の生徒がパソコン端末やスマートフォンで1票を投じた。集計作業は25分で終了し、結果もすぐに校内に掲示された。

会選挙を用紙に書く投票からオンラインに切り替えた。今回2回目となる。4日に行われた選挙では、候補者7人それぞれの応援弁士が、ビデオ会議ツールを使って「設備や規則について意見を集める日安箱を設置」など身ぶり

手ぶりを交えて公約を訴えた。

書記に立候補した山岡美緒さん(16)は、「反応が見えないので緊張したが、どんな風に映っているのか想像し、声にも気をつけて演説できた」と手応えを話した。

1、2年生の全教室では立候補者の声のほか、ホワイトボードに顔も大きく投影され、生徒たちは主張を真剣に聞き入った。山本葵衣さん(16)は「体育馆で遠目に見るよりも表情や雰囲気が伝わった。感染のリスクも避けることができてよかったです」と話していた。

1、2年生263人のうち、244人がタブレット端末やスマートフォンで投票したが、端末を持たない生徒19人は紙で投票。25分で集計し、信任を得た7人全員が校舎1階の広場に掲示された。2年前まで集計だけで1時間かかっていたが、かなりの時間短縮となり、同高では来年度もオンライン投票を行うという。

(古市大)



ビデオ会議ツールで生徒会立候補者の演説を聞き、パソコン端末で投票した生徒たち

(向日市寺戸町・京都西山高)